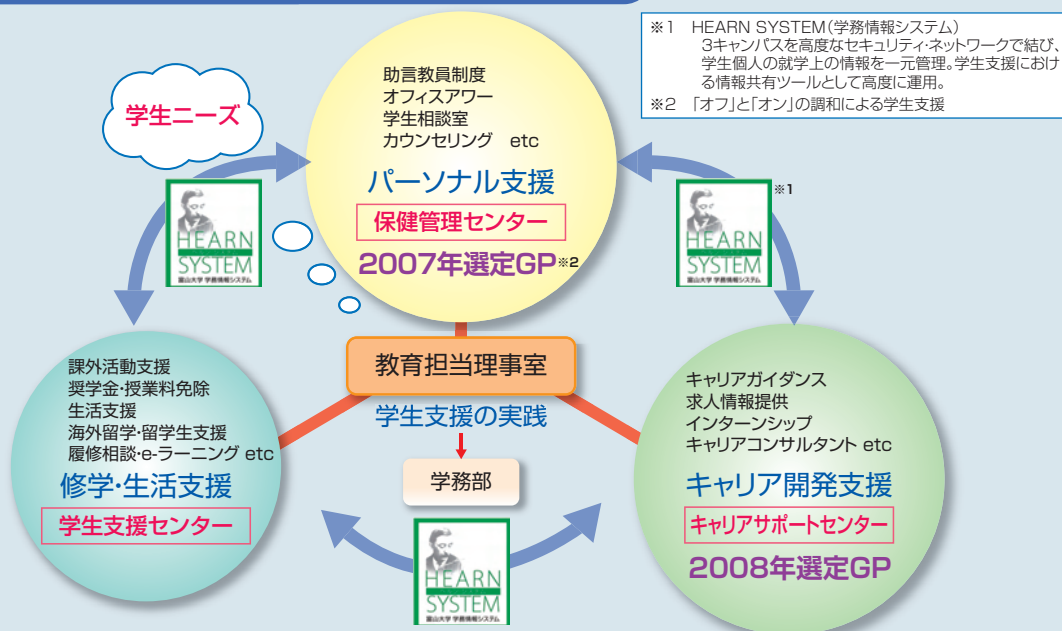


富大流人生設計支援プログラム —『14歳の挑戦』と連携する長期循環型インターンシップモデル—

富山大学

キャリアサポートセンター 富大流人生設計支援室

富山大学における三位一体の総合的學生支援体制



2008年選定プログラムの概要

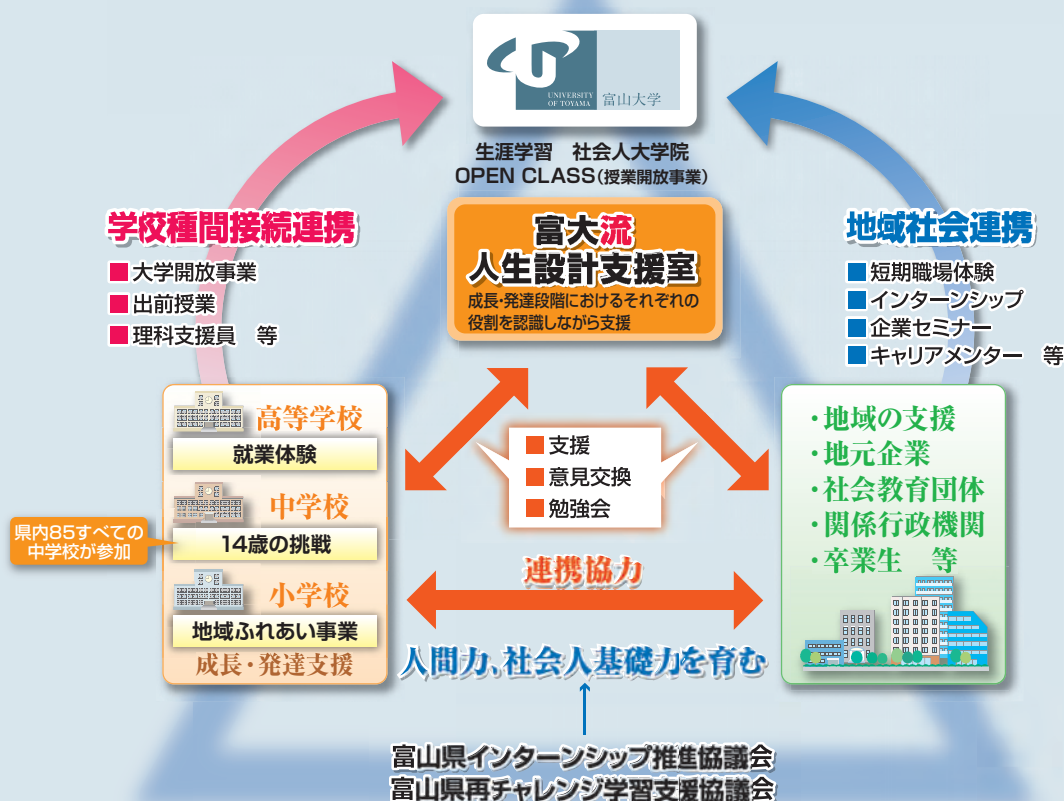
富山県では全国に先駆けて県内全中学校が「社会に学ぶ『14歳の挑戦』」を実施しており、本学のインターンシップにも経験学生が参加するようになってきたが、相互に連携・接続していないために生徒・学生の経験値は個人レベルにとどまっていた。本プログラムではインターンシップ参加学生が実習後もICTを利用した自学研修を重ね、『14歳の挑戦』の生徒指導ボランティアとして参加する。大学生は自らの成長を省みる機会を獲得し達成効果を高め、中学生は数年先のキャリアターゲットとなる大学生と触れ合うことで将来像を獲得し、発達段階に応じたキャリア教育の学びの循環として機能する。

本プログラムにより、パーソナル支援、修学・学生支援、キャリア開発支援の総合的學生支援体制が推進できるとともに、他の高等教育機関と地域社会に対しても新しいタイプの長期型インターンシップを提示することになり、地域社会全体の活性化に大きく寄与できる。



富大流人生設計支援室

本プログラムの実施組織として、「キャリアサポートセンター」の下に「富大流人生設計支援室」を設置してプログラムの推進に当たるとともに「学校種間・地域社会のコーディネート」を実践する。さらに、学生に対しては受入企業・団体ごとにプログラム調整及び連絡担当責任者（教職員）を決めて丁寧な指導を個別に行う。また、今年度導入したSNSを利用してコミュニティサイトを立上げ、受入企業毎の情報の集約と共有、学生同士また学生と教職員との密接な連絡体制の構築、実習中に生じる問題解決についての支援をリアルタイムに行う。



期待される効果

- **インターンシップの教育目標・達成目標への成果**
 - 自己の成長を振り返るチャンス
- **三位一体の総合的學生支援体制の確立**
 - 修学生活支援＋パーソナル支援＋キャリア支援
- **キャリアターゲット(中学生へ)の効果**
 - ひとつ先のステージ(高校進学)を考えるにあたりその次のステージ(大学)を考えさせることが重要
- **地域社会からの信頼性向上**
 - 発達段階(学校種間)における連続的なキャリア支援の構築
- **地方の高等教育機関にとっての研究事例となる**
 - 地方の利点を生かしたインターンシップ
 - 新しいタイプの長期型インターンシップの提示

2007年選定GP
との相乗効果

〈卒業生進路追跡実態調査から〉

3年未満 離職率

インターンシップ受講者 **16.7%**

全国平均 **36.6%**

本学平均 **23.0%**

出所：2008（平成20）年富山大学キャリアサポートセンターによる調査

連絡先

富山大学キャリアサポートセンター 富大流人生設計支援室 TEL:076-445-6255 FAX:076-445-6700 Email:career@u-toyama.ac.jp